

## ミミズコンポストを始めてみよう！

### ミミズコンポストをととは・・・

野菜や果物のくずなど家庭から出る生ごみを、ミミズ（と微生物）の活動により分解処理して堆肥（英語で compost）に変えるエコな取り組みです。

- ・ 生ごみの処理に電気などエネルギーを必要としません。
- ・ 排出する生ごみを減らすことで各世帯や公共の負担（ごみ袋代、ごみ収集・運搬に要するエネルギーなど）の節約になります。
- ・ 焼却処分する生ごみを減らすことで二酸化炭素削減、地球温暖化防止に繋がります。
- ・ 良質の堆肥ができ、家庭菜園等に利用できます。

### ミミズコンポストの始め方

ミミズコンポスト専用の容器がネット等で販売されていますが、ご家庭にある容器をリサイクルして始めることもできます！

- ① 容器を準備する。
  - ・ コンポスト容器は衣装ケースなどプラ製又は木製の各種ケースが再利用できます。
  - ・ 設置場所は、風通しが良く風雨や日光が直接当たりにくい場所を選んでください。
- ② コンポスト容器の底に網を敷く。
  - ・ ホームセンターや 100 均ショップにある園芸ネットや網戸用のネットなどが使えます。容器に排水用の隙間や穴を開けている場合、ミミズの脱走を防ぐために使用します。



③ 床材を入れる。

- 箱の半分くらいでOK。



④ ミミズを入れる。

- シマミミズというミミズを活用します。



⑤ 再び床材を入れる。

- シマミミズは表層付近で活動するため床材を厚く被せる必要なし。床材は箱の7分目くらいでOK。
- 容器の内壁面が濡れているとミミズが登って脱走することがあるため箱のフチ内壁面の水分は拭き取っておく。

⑥ 表面に新聞紙を1～2枚敷き詰める。

- 敷き詰めた新聞紙に水をたっぷり含ませる。
- 新聞紙は湿り気を保持するために入れる。床材が乾燥している場合は床材も湿らせる。
- 新聞紙はミミズが食べてしまうため入れたままにしてOK。新聞がボロボロになったら新しい新聞紙を入れる。



⑦ 箱に蓋をする

- 慣れない環境ではシマミミズが脱走するため蓋部分等に隙間を作らない工夫をする。ただし酸欠や夏季の高温に注意。
- 夏季は日除けや断熱によしずやベニヤ板、冬季は保温として銀マットなどの素材を気候に応じて適切に活用する。
- 生ごみやミミズを狙う鳥獣からの被害を避けるため、必要に応じて蓋に重しをするなどの対策をする。
- 容器内が暗く湿った環境を維持する。



## ミミズコンポストを活用するには・・・

ミミズの見た目が苦手という方もいらっしゃると思いますが、適切に管理するとミミズが繁殖して生ごみの処理量や処理スピードが増大します。生ごみ処理が捗ると同時にミミズに愛着が湧いてきたという方が多くいらっしゃいます。このように生物を育成する楽しみという一面がミミズコンポストにはあります。「ミミズを上手に飼育する」という意識がミミズコンポストをうまく活用するコツかも知れません。

### ○シマミミズについて

- ミミズコンポストに活用できるのはシマミミズという種類です。その他のミミズは野菜くず、果物くずといった生ごみを食べないので活用できません。
- シマミミズは淡い赤茶色をしており、各体節の中央に紫褐色の太い横帯があるため、全体的に縞模様に見えますが、縞模様がはっきりしない場合もあります。
- シマミミズは田畑や山林など自然の土壌では一般的に生息していません（生息できません）。養鶏場や畜産施設の堆肥集積場等の有機物が豊富で湿った環境に集中的に生息しています。
- シマミミズは多年生で繁殖力が強く、環境が合えばコンポスト容器内で繁殖・世代交代をします。上手く繁殖できれば容器の維持はもとより容器を増やす場合も新たに購入する必要がありません。
- 温度は 22～24℃程度が理想で、高温と低温に弱いので夏季と冬季には管理に注意が必要です。



## ○シマミミズの入手について

- 養鶏場や畜産施設に伝手があれば堆肥集積場等にて採取できる場合があります。
- シマミミズは釣り餌としての需要があり、釣具店で活餌として流通している場合があります。釣具店によっては溪流釣りのシーズンである春季のみなど季節限定で取り扱う場合もあるようです。箱入り包装のうえ冷蔵ケース保管で販売されています。  
※釣具店ではあくまで餌として販売していますので元気がない状態かもしれません。  
可能であればミミズの状態を確認させてもらってから購入するのが無難です。



- ネット販売でも入手できます。釣り餌、ペットの餌やコンポスト活用などの用途で業者がネット販売をしています。通販サイトで購入可能です。コンポストに活用できない種類（ドバミミズ、フトミミズ等の名称で流通）にご注意ください。



## ○シマミミズとコンポスト容器について

- シマミミズは地表面近くで活動し深く潜る性質ではないため、コンポスト容器の深さはそれほど必要ありません。一般的なプラスチック製の衣装ケースより小さな容器でも活用可能です。小さな容器は生ごみの処理量は相対的に少なくなりますが全体を確認しやすい、場所の移動が容易などの長所があります。  
一方、大きな容器は容器内の環境が悪化（夏季のコンポスト内の温度上昇など）した場合、スペースに余裕があるとミミズが環境の良い部分に退避できるので容器内のミミズがいきなり全滅という事態を避ける確率（生存率）が高まります。
- 米ぬかはミミズの好物ではありますが、不用意に入れてしまうとコンポスト容器内で発酵することがあります。発酵熱でミミズが死んでしまう場合があるのでご注意ください。  
※ベテランの方は冬季に米ぬかの発酵熱を利用してコンポスト容器内の低温状態を改善するとのことですが、実施には経験と知識が必要です。  
※稀に水分を含んだ生ごみのかたまりも発酵して発熱することがあるのでご注意ください。
- ミミズコンポストを新規に立ち上げたばかりの慣れない環境ではミミズが脱走しがちです。目の細かい網を被せる、蓋にタオルを挟んで隙間をなくすなどの対策をしてください。他の生物の侵入防止にも有効です。
- 新規でミミズコンポストを立ち上げた場合、落葉を容器内に追加してください。  
立ち上げたばかりの容器内にはミミズと協同して生ごみを分解する微生物が存在していませんので、落葉に付いている微生物を容器内に導入するためです。

## ○床材について

- 床材とは、容器内に入れてミミズの寝床（兼食料）となるもので、ココナツ繊維、新聞紙や段ボール紙をシュレッダーで細断したもの、バークチップなどを使用します。
- 床材には適度な湿り気が必要ですが、水分が多すぎると酸欠状態となりミミズが死んだり脱走したりしますので、床材をほぐして空気を含ませる、乾いた新聞紙等を入れて余分な水分を吸収させる、新しい床材を入れるなど対策をしてください。
- ホームセンターや 100 均ショップの園芸コーナーにあるココナツ繊維が寝床として使えます。  
※ココナツ繊維は水で戻して使いますが塩分が含まれています。ミミズは塩分が苦手ですのでそのまま使用せずに必ず水に複数回さらして塩分を抜いてから使用してください。



- 新聞紙や段ボール紙をシュレッダーで細断したのも床材として使用できます。ほとんどの新聞紙は大豆など植物由来のインクを印刷に使っているため使用可能です。雑誌等の紙はインク成分の確認ができないので注意が必要です。



- ホームセンター等の園芸コーナーでパークチップの名称で市販されているものの中には園芸用に添加物として肥料が入っていたり、発酵して熱を帯びたりする可能性があるため注意が必要です。

#### ○処理できる生ごみについて

- 処理できるもの  
野菜くず、果物くず、茶葉、コーヒーかす（紙フィルター含む）、枯れた草花、新聞紙、

段ボール紙など

- 注意を要するもの（少しならいれていいもの、処理に時間がかかるもの）  
肉、魚（骨は処理できません）、ごはん、パン、クッキー、納豆、こんにゃくなど  
※処理に時間がかかるため、コバエなどの発生原因になることがあります。
- 入れてはいけないもの  
ネギ類、柑橘類、油、液体（ジュース、牛乳、お茶、コーヒー、煮汁、スープ、みそ汁）、  
辛いもの、味付けの濃いもの、ガム、犬猫の糞
- 生ごみは床材に浅い窪みを作って入れた後、臭いやコバエの発生を防ぐため、床材を上  
に被せて更に湿らせた新聞紙で覆って生ごみが露出しないようにしてください。
- 容器内は酸性になりがちですが、ミミズは中性から弱酸性の環境を好みますので細かく  
砕いた卵の殻や牡蠣殻を時々入れてください。

#### ○インターネットの参考情報について

- ミミズコンポストの開始や維持管理、トラブル対応などについて、既に実践している方  
がノウハウをホームページやYouTubeで情報発信しています。  
「ミミズコンポスト管理局（東京農工大学農学部自主ゼミナール）」「新潟ミミズ情報局  
おとさん」「108Farm」「山林ノート」など。  
検索サイトで「広島ミミズの会」と検索すると「広島ミミズの会」さんが作成された  
詳しくて分かりやすいミミズコンポスト維持管理マニュアルがヒットします。  
その他にもネットやYouTubeには参考になる情報が多数ありますので、ぜひ検索し  
てご覧になってください。
- 益田市地球温暖化対策地域協議会のホームページ（<https://masuda-ontaikyo.jp>）を  
開設しました。まだ記事等は少ない状態ですが、今後ミミズコンポストを含め、温暖化  
対策、脱炭素に関する情報を発信していきます。

益田市地球温暖化対策地域協議会  
（事務局：益田市福祉環境部環境衛生課）  
〒698-8650 益田市常盤町1-1  
TEL0856-31-0201